

神、人、サタン

聖書：ヨブ 1:6-12. 2:1-7. マタイ 12:26. ヘブル 2:14. ローマ 16:20. 啓 12:5, 7-11

I. 全聖書は、神、人、サタンについての事柄の記録です。ですから、わたしたちは聖書を読むとき、神と人についての事柄を知るだけでなく、サタンについての事柄も知る必要があります——創 1:1, 26-28. 3:1, 4, 15. イザヤ 14:12-14. エゼキエル 28:12-19 :

A. 神が地を創造する前、サタンは神によって創造された天使、また油塗られたケルブでした。彼は天使たちの間で最高の者でした——エゼキエル 28:12-15. ヨブ 38:4-7 :

1. サタンは、「暁の星、夜明けの子」(イザヤ 14:12) であり、宇宙の「夜明け」の時に神によって創造された最初の天使たちのひとりであって、神によって任命されてすべての天使のかしらとなりました (エゼキエル 28:14. ユダ 9 節)。
2. 油塗られたケルブは、神によって任命されて、アダム以前の宇宙を支配しました (ルカ 4:6)。油塗られたケルブは、神に最も近い者であり、王職と祭司職の両方を持っており、神の被造物の中で最高の地位を保持していました (エゼキエル 28:13)。

B. 神に対するサタンの反逆は、イザヤ書第 14 章 13 節から 14 節とエゼキエル書第 28 章 15 節から 18 節で啓示されています :

1. サタンが神に反逆したのは、サタンの心の中の高ぶりのゆえでした。彼の心は自分の美しさのゆえに持ち上げられました——イザヤ 14:13-14. エゼキエル 28:17。
2. サタンの意図は、神の権威を覆し、自分自身を高く上げて神と同等になることでした。サタンは神に対する反逆の中で、神と同じ水準にいることを願いました——イザヤ 14:13。

C. サタンは反逆のゆえに、神の内敵、神の敵となりました——ゼカリヤ 3:1-2. 啓 12:9 前半. 20:2 前半 :

1. 「サタン」は「内敵」を意味します。神の内敵として、サタンは神に反対します——ヨブ 1:7, 12. 2:1, 6. 啓 20:2。
2. 「敵」は神の王国の外側の反対者を指していますが、「内敵」は神の王国の内側からの反対者を指しています。
3. サタンは神の王国の外側の神の敵であるだけでなく、神の王国の内側からの神の内敵でもあって、神に反逆します。

II. ヨブ記第 1 章と第 2 章における光景は、ヨブについて天で持たれた二つの会議を描写しています——ヨブ 1:6-12. 2:1-7 :

A. 神はヨブに対して愛の関心があったので、天で二つの会議を持ってヨブについて論じました——ヨブ 1:6. 2:1。

B. 「神の子たち」、すなわち天使たちが来てエホバの御前に立ち、サタン、すなわち内敵も彼らの間に来ました——ヨブ 1:6. 2:1. 38:7. 参照、列王上 22:19-23. 詩 89:5-8 :

1. サタンは神に反逆した後、神によって罪定めされ、判決を受けさえしました——イザヤ 14:12-15. エゼキエル 28:12-19。
2. サタンが神の面前へと来る権利は、まだ彼から取り去られていませんでした——参照、啓 12:10。

C. 神は彼の知恵と主権において、サタンに対する神の裁きを執行したのではなく、サタンにある限定的な時間を与えて、あることを行なわせ、いくつかの消極的な必要に応じさせ、神のエコノミーを完成するようにしました :

1. 神は彼の多くの良い天使たちのだれにも、ヨブを傷つけるのに必要なこと、すなわち、ヨブが神に満たされるために、ヨブのあらゆるものをはぎ取ることが求められることはできず、またそうしようともしませんでした——ヨブ 1:1, 8, 11-12. 2:3-7。
2. サタンは、ヨブの所有物と倫理上の到達をはぎ取るという神の意図を成就することができ、またそうしようとした宇宙で唯一の者でした——3 節。
3. ヨブ記第 1 章と第 2 章の光景がわたしたちに見せているのは、サタンがなおも自由であり、ことさら神によって醜悪な道具として用いられ、神の愛する者に対する神の厳格な対処を執行するということです——参照、ルカ 22:31-32。

Ⅲ. サタンは彼の王国、すなわち暗やみの権威を持っています——マタイ 12:26. 使徒 26:18. コロサイ 1:13 :

A. サタンは、彼の権威（使徒 26:18）と彼の使いたち（マタイ 25:41）を持っています。彼の使いたちは彼の従属者たちであり、この世の暗やみの支配者たち、権威者たち、世の支配者たちです。ですから、サタンは彼の王国、すなわち暗やみの権威を持っているのです（コロサイ 1:13）。

B. サタンはこの世の支配者、また空中の権威の支配者です——ヨハネ 12:31. エペソ 2:2 :

1. 「霊」（エペソ 2:2）は、「空中の権威」と同意語であり、集団的な力、すなわち、すべての邪悪な天使の権威者たちの集合であり、サタンはその支配者です。
2. わたしたちは違犯と罪の中に死んでいたとき（1 節）、「この世の時代」（2 節）にしたがって歩いていました。この世の時代とは、この世の現代の外観、この世の現在の潮流であって、サタンの体系です。
3. 支配者たち、権威者たち、この暗やみの世の主権者たちは、反逆の天使たちであり、彼らはサタンに従って神に反逆しました。そして今や天上で、この世の諸国民を支配しています——ダニエル 10:20。
4. これが示しているのは、悪魔サタンが彼の王国を持っており、その中で最高の地位を占め、反逆の天使たちが彼の下にいるということです。

IV. 主イエスは、地上での彼の務めと十字架での彼の死を通して、サタンに対して勝利を得ました—— I ヨハネ 3:8. マタイ 27:51-53. コロサイ 2:14-15. ヘブル 2:14 :

A. 勝利を得たキリストは、彼の地上の務めにおいて、悪魔を打ち破り、彼のわざを破壊しました——マタイ 4:1-11. I ヨハネ 3:8 :

1. 主イエスは、天の王国のために彼の務めを完成するのに、神の敵、すなわち悪魔サタンを打ち破らなければなりません——マタイ 4:1, 11 :

a. 彼はこれを人として行なわなければなりません。ですから、彼は人として立って、神の敵に対峙しました—— 6-7 節。

b. 最初の人、アダムに対する悪魔の試みは成功しました。第二の人、キリストに対する彼の試みは、完全に失敗しました—— 11 節。

2. 主イエスは地上での彼の務めにおいて、悪魔のわざを破壊しました—— I ヨハネ 3:8 :

a. I ヨハネ第 3 章 8 節で、「破壊する」と訳されたギリシャ語はまた、「取り消す」あるいは「削除する」とも訳すことができます。

b. このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔の罪深い行為を取り消し、破壊するためでした。すなわち、十字架での彼の死を通して、肉において、邪悪な者である彼によって開始された罪を罪定めし、罪の力、すなわち悪魔の罪深い性質を破壊し、罪の性質と罪の行為を取り除くためでした——ローマ 8:3. ヘブル 2:14. ヨハネ 1:29。

B. 勝利を得たキリストは、十字架につけられたとき、この世の支配者を追い出し、悪魔を滅ぼし、支配たちや権威たちがはぎ取られるようにし、死を廃棄しました——ヨハネ 12:31. マタイ 27:51. ヘブル 2:14. コロサイ 2:15. II テモテ 1:10 :

1. キリストは、十字架での彼の働きにおいて、この世の支配者を追い出し、この世を裁きました——ヨハネ 12:31 :

a. サタンがキリストの死における働きによって追い出されたとき、この世の支配者は追い出されました。同時に、サタンと関係があるこの世の体系は裁かれました—— I ヨハネ 5:19。

b. サタンの反逆の基礎は揺り動かされ、サタンの地上の王国の要塞は崩されました——マタイ 27:51。

2. キリストは十字架につけられたとき、悪魔を滅ぼしました——ヘブル 2:14 :

a. 14 節で「滅ぼす」と訳されたギリシャ語は、「無にもたらず、無効にする、廃棄する、削除する、取り消す、捨てる」とも訳すことができます。

b. キリストは彼の人性において、十字架での彼の働きを通して、悪魔を滅ぼしました——ヨハネ 3:14。

3. キリストは、十字架での彼の働きにおいて、神が天使の支配たちや権威たちをはぎ取り、公然とさらしものにし、彼らに対して勝ち誇るようにしました——コロサイ 2:15。

4. キリストは、十字架での彼の働きにおいて、悪魔を滅ぼす彼の死（ヘブル

2:14) と、死を飲み尽くす彼の復活 (I コリント 15:52-54) とを通して死を廃棄し、それを無効にしました——II テモテ 1:10。

C. 神は王国の福音を通して、人々を天の権威の支配の下にもたらしめます。それは、彼らが神の王国、すなわち神の権威によって支配される者となるためです——マタイ 24:14. 啓 1:5-6。

V. キリスト・イエスにある信者、また神の子供たちとして、わたしたちはキリストの中でサタンに対して勝利を得ることを学ぶ必要があります——エペソ 6:12. I ペテロ 5:8-9. I ヨハネ 5:18 :

A. わたしたちはサタンの陰謀を知らないでいるべきではありません——II コリント 2:11 :

1. 「陰謀」と訳されたギリシャ語は、「計画、計略、もくろみ、たくらみ、意図、目的」を意味します。
2. 邪悪な者、サタンはあらゆることの背後にいて、あらゆることの中で、召会生活の中でさえ働きます。

B. わたしたちは神のすべての武具を身に着けて、悪魔の策略に敵対して立つことができるようになる必要があります——エペソ 6:11 :

1. 悪魔は邪悪な意図を持っているだけでなく、また欺く策略を持っており、彼の意図を成し遂げます。これらの策略は彼の邪悪な計略です。
2. 神のすべての武具を身に着けることは、わたしたちが悪魔の策略に敵対して立つことができるようにします——11 節。
3. いと高き方の聖徒たちに対するサタンの策略の一つは、彼らを疲れさせることです (ダニエル 7:21, 25)。わたしたちは、サタンがわたしたちを疲れさせているのを見るとき、彼の疲れさせる戦術に抵抗し反対する力を持ちます。

C. わたしたちは、わたしたちの内敵である悪魔に対して、目を覚ましている必要があります。彼は「ほえたける獅子のように、歩き回って、だれかを食い尽くそうと捜し求めています」——I ペテロ 5:8 :

1. 目を覚ましていることは、戦いの中にいるように、前線の兵士のように警戒していることです。
2. I ペテロ第 5 章 8 節の「目を覚まして」という言葉は、戦うことを暗示します。わたしたちは戦いの中にいるので、警戒する必要があります。
3. わたしたちは警戒しているなら、わたしたちの内敵に抵抗し、わたしたちの信仰にあって堅固になります——9 節 :

a. 抵抗することは、反抗することや苦闘することではなく、堅く立つことです。それはほえたける悪魔の前で、わたしたちの信仰の土台の上に、岩のように堅く立つことです。

b. I ペテロ第 5 章 9 節の「[あなたがたの] 信仰」は、信者たちの主観的な信仰を指しており、それは神の守る力と愛の関心を信じることです。

D. わたしたちがサタンに対して勝利を得る最上の道は、ミングリングされた霊の

中で生きることです—— I コリント 6:17. I ヨハネ 5:18 :

1. サタンが侵入することができない唯一の場所があります。それはわたしたちの霊です—— II テモテ 4:22。
2. わたしたちがサタンの権威の下にいるかどうかは、わたしたちが行なうことによって決定されるのではありません。そうではなく、それは、わたしたちが霊の中にいるか、あるいは肉の中にいるかによって決定されます——ガラテヤ 5:16-17。
3. わたしたちがミングリングされた霊の中にとどまっている限り、わたしたちは守られ、サタンはわたしたちに対してなすすべはありません—— I コリント 6:17. I ヨハネ 5:4-5, 18-21。

VI. 「平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます」——ローマ 16:20 :

- A. サタンを踏み砕くことは、召会生活と関係があります。召会生活は、神がサタンに勝利を得る最も有力な手段です——ローマ 16:20, 1, 16 後半。
- B. ローマ第 16 章 20 節の「あなたがた」と訳されたギリシャ語は複数であり、からだを指しています——ローマ 12:5 :
 1. ローマ第 16 章は、宇宙的な意味でのからだを指しているのではなく、からだの地方的な実行上の表現を指しています。
 2. サタンを対処することはからだの事柄であって、個人の事柄ではありません。
 3. サタンはただ、諸地方召会におけるからだの実行上の表現の足の下にのみ、踏み砕かれることができます——ローマ 12:5. 16:1, 4, 16 後半。
 4. わたしたちがからだの実行上の表現としての正当な地方召会を持つときはじめて、サタンはわたしたちの足の下に踏み砕かれます—— 20 節。
- C. サタンをわたしたちの足の下に踏み砕く方が平安の神であることは、意義深いのです——ローマ 16:20 :
 1. 平和の神は聖別する方です。彼の聖別は平和をもたらします—— I テサロニケ 5:23。
 2. わたしたちは内側から彼によって徹底的に聖別されるとき、あらゆる事で彼と人に対して平和を持ちます—— 13 節. ローマ 6:19, 22. ヘブル 13:12。
 3. 神の平安がわたしたちの心と思考を護衛し、歩哨に立ちます。なぜなら、平安の神はキリストの中でわたしたちの心と思考の前を巡回し、わたしたちを落ち着かせ、静めてくださるからです——ピリピ 4:7。

VII. 男の子が神の御座に携え上げられた後、天で戦いがあり、サタンとその使いたちは地に投げ落とされ、神の王国が現れます——啓 12:5, 7-11 :

- A. 男の子は勝利者たちから成っており、彼らは召会に代わって立ち、全召会が取るべき地位を取り、召会の働きを行ないます——啓 2:7 後半, 11 後半. 12:5 :
 1. 男の子は常に、神の敵サタンに対する地上での継続的な戦いに従事しています。
 2. 天が待っているのは、男の子（勝利者たち）が天にやって来て、戦いを進行

させ、サタンを天から投げ出すことです：

- a. 勝利を得た信者たちとサタンとの戦いは、実はサタンに対して主の裁きを執行することです——ヨハネ 12:31。
 - b. 最終的に、彼らの戦うことを通して、サタンは天から投げ出されます——啓 12:8-9。
- B. 悪魔、すなわち訴える者は、今や昼も夜も神の御前に信者たちを訴えています。しかし、男の子を構成し、神の敵サタンによって反対され中傷された、勝利を得た信者たちは、彼に打ち勝ちます——啓 12:10-11：
1. 彼らがサタンに打ち勝つのは、「小羊の血のゆえに」です—— 11 節前：
 - a. 小羊の血は、わたしたちの贖いのためであり、わたしたちに敵対する悪魔のすべての訴えに神の御前で答え、悪魔に対する勝利をわたしたちに与えます。
 - b. わたしたちは悪魔の訴えを感じるときはいつも、この血を適用する必要があります——ローマ 3:25. I ヨハネ 1:7。
 2. 彼らがサタンに打ち勝つのは、「彼らの証しの言のゆえに」です——啓 12:11 中：
 - a. 彼らの証しの言は、悪魔が主によってすでに裁かれていることを証しする彼らの言葉です——ヨハネ 12:31. ヘブル 2:14。
 - b. わたしたちは悪魔の訴えを感じるときはいつも、言葉を発して、悪魔に対する主の勝利を宣言すべきです。
 3. 勝利者は自分の魂の命を愛しません——啓 12:11 後：
 - a. 自分の魂の命を愛さないことは、サタンに打ち勝つための根拠、サタンに対するわたしたちの勝利の根拠です。
 - b. 自分の魂の命を愛さないことが意味するのは、わたしたちが進んで自分自身の魂の命を捨てること、また自分自身の魂の命を顧慮しないことです——マルコ 8:34-35。
 - c. サタンが恐れるのはただ一種類の人、すなわち、自分自身の魂の命を愛さない人です——啓 12:11 後。
- C. 男の子は、神の最も重要な時代の行動と関係があります——マタイ 6:9-10. 啓 11:15. 12:10：
1. 神はこの時代を終わらせ、王国の時代をもたらすことを願っています。このために神は、男の子を彼の時代の手段として持たなければなりません—— 5 節。
 2. 男の子の携え上げは召会時代を終わらせ、王国の時代を導入します—— 5, 10 節。
 1. 男の子が神の御座に携え上げられること、サタンを地に投げること、天における宣言は、男の子が王国を地にもたらすことを表徴します。これは神の最大の時代の行動です—— 5, 9-10 節. 11:15。

